

令和4年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

(中・高)・コミュニケーション活動や発音練習などを多く取り入れ、楽しみながら外国語を学べる環境をつくる  
ことができた。

(2) 課題

(中)・楽しみながら取り組んでいるが、一人ひとりが発音を練習したり、英語での会話をしたりする機会が少ない。

(高)・同じ場面やパターンの会話ではなく、様々な場面の会話や単語に触れる機会をつくる。また、自分の考えや想いを英語で表現する機会を増やす。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>領域別の正答率は、すべてにおいて目標値、区の平均値を下回っている。</li> <li>問題別では、聞き取った単語や会話の意味理解はできているが、文字で読み取ったり、英作文を書いたりする力が弱い。</li> </ul>		

(2) 分析(観点別)

① 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>色や野菜など、低学年から慣れ親しんでいる単語については理解ができている。</li> <li>「小文字の書き」(罫線のどこに書けばよいか)が弱い傾向にある。</li> <li>施設の単語の意味理解を問う問題で正答率が低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常会話の理解では、天気や持ち物の会話の理解が目標値を越えている。</li> <li>英作文では、どの問題も目標値、平均値ともに下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英作文では、「書けそうにない」という意識からか、正答率が低く、無回答も他の問題に比べて多かった。</li> </ul>

3 授業改善のポイント(観点別)【◎は重点項目】

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて聞く単語や表現が多く、ALTが何と言っているのか聞き取って発音するのが難しいときがある。インプットとアウトプットを繰り返し、児童が英語表現に慣れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎例文をそのまま真似するのではなく、自分の考えや想いに当てはまる表現を見付けて言えるようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTや友達とすすんで活動に取り組んでいる。</li> <li>一人ひとりが発音練習や英語での会話をする機会を増やしていく。</li> </ul>

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>スモールトークなどで様々な単語を聞き、発音するという機会を増やし、単語に慣れ親しむ。</li> <li>罫線を使って文字を書く活動を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎様々な場面の会話を聞く機会をつくる。</li> <li>例文を見ながら英作文をする活動を多く取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英作文をする活動を取り入れて慣れさせ、苦手意識を減らす。</li> <li>活動では、自分の考えが英語で表現できるようになったという達成感を味わえるようにする。</li> </ul>